

今年度に 170 戸の改修工事

陸前高田の仮設住宅

# 基礎に鋼柱設置、玄関床板の更新

岩手県は、仮設住宅の長期化にともない不具合が生じる前に予防策として改修計画を発表しました。昨年 10 月以降の全仮設住宅団地の点検にもとづく、劣化が認められる C 判定を対象に 2 か年で実施を計画。主に基礎構造の木杭の補強や、玄関部分の床面の更新。陸前高田市内では今年度 5 団地 170 戸が対象となっています。



小池晃参院議員

陸前高田市での調査（2/28、3/1）をもとに国会で追及。（2月14日参院）

国会で小池議員が追及

## 子ども医療費窓口無料化への国の罰則は廃止を

4月15日の参院厚生労働委員会で、日本共産党の小池晃議員は、子どもの医療費の窓口負担を軽減している市町村に対して国がペナルティーを科している問題を取り上げました。この窓口無料化は岩手県が来年8月から一部導入の方針ですが、そうすると陸前高田市にも国民健康保険への国庫負担の削減というペナルティーが出てきます。

小池議員の追及に、塩崎厚労相は、「ペナルティーの問題も検討課題とする」と答えました。

## 復興住宅にも見守りの支援を

また、小池議員は大船渡、陸前高田での調査をもとに、高齢化や仮設住宅から復興住宅への移転の中で、見守り支援の役割がおおきくなっているとし、支援の継続を求めました。

総務大臣政務官が、「現在復興支援員は 21 団体 452 名が活動しているが、集中復興期間後の支援の枠組みを検討中」と答えたのに対し、小池議員は、陸前高田や大船渡の人たちが鉄筋 4 階 5 階建ての復興住宅に入る場合、精神的にも支えることほんとうに必要なだ」「集中復興期間が終わっても次復興住宅に入った後のことも考え、見守り支援の継続と相談員の増員」を迫りました。

総務省は、「被災地の社会福祉協議会などに配置して取り組んできたが、仮設住宅に限らず復興住宅に移られた後にも実施可能であり、被災者のニーズをふまえた取り組みの適切な展開に努めたい」と答えました。

# 日本共産党

## 陸前たかた民報

2015年5月1日 第308号

日本共産党陸前高田市委員会

電話 55-5512

高田町字西和野 24-1

※日本共産党の活動をお知らせします。

### 改修予定の仮設団地

県の計画から

	団地名	上期	下期
矢作	教員住宅仮設	27年度	
	打越仮設	27年度	
竹駒	竹駒小仮設		28年度
	滝の里工業団地		28年度
	下壺仮設	27年度	
高田	一中仮設		28年度
	高田高校 G		28年度
	サンビレッジ	27年度	
米崎	米崎小	27年度	
小友	モビリア		28年度
	キャンプ場		28年度
	11 団地 254 棟 818 戸	170 戸	

——改修工事の概要——

#### ●基礎部分

建物外周部の基礎の両側に鋼性の床束を添えて設置

#### ●玄関部分

玄関部分の階段（雨掛り部分）の床板等の更新

※なお、全般の不具合は従来どおり入居者の連絡に応じて個別に改修する。

### 日本共産党市議団 見守り活動で調査

日本共産党市議団は4月8日、社会福祉協議会を訪問し、菅野直人常務理事と生活支援部門主任の安田さん（写真）から、現在 20 名で活動している、仮設団地やみなし仮設の相談支援の状況について説明をうけました。訪問では、被災者との会話やちょっとした変化などの気配りや、今後、仮設住宅の戸数は減るが残った人たちへの支援が重要になることなど、今後の課題も知ることができました。



2月8日、市社会福祉協議会で